

生涯学習課
担当者 笹山
内線 5610
直通 225-1839

親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」作品集について

1 内 容

心の教育推進協議会が、5月12日から8月12日にかけて県内全小中学校の児童・生徒と親（祖父母などの家族を含む）を対象に募集した親子の短い手紙の中から、優秀賞10点、入選50点を入賞作品として選定し、作品集とした。

2 手紙の募集趣旨

日頃、なかなか口にできない親子のそれぞれの思いを「短い手紙」に表現することを通して、互いの気持ちを理解し、家族の話し合いを大切にする気運を高める。

3 応募総数

24,273点

4 作品集作成部数

32,500部

5 配付先

応募者、市町教育委員会、小中学校、PTA等

6 優秀作品者の表彰

優秀賞10点、入選50点を入賞作品として選定。

11月4日（月・振休）石川県地場産業振興センター新館コンベンションホールで開催される「心の教育推進大会」にて優秀賞の親子10組を表彰。

7 過去の経緯（応募数）

今回は16回目（1回目は平成10年）

近年の応募数

平成25年度・・・24,273点（優秀賞10点 入選50点）

平成24年度・・・23,774点（優秀賞10点 入選50点）

平成23年度・・・22,471点（優秀賞10点 入選50点）

平成22年度・・・19,631点（優秀賞10点 入選35点）

8 今回の特徴

- ・日頃、面と向かっては言えない「ありがとう」「ごめんなさい」という気持ちを言葉で伝えるよい機会となっていることが全体的にうかがえた。
- ・中学校や小学校高学年の作品には、思春期特有の複雑な心情やそれに対する保護者のとまどいが素直に表現されたものや、理解し合いたいという想いを伝える作品が見られた。
- ・全ての市町から応募があり、昨年度より総数で499点増えた。
- ・学校・学級ぐるみやPTAと連携して取り組んだ小中学校が増加した。



平成二十五年年度
親子の架け橋一筆啓上

平成二十五年年度 親子の架け橋一筆啓上 「親子の手紙」

『家庭の日』作品コンクール 最優秀賞



「みんなでいっしょにおんせんにいきたいな」

加賀市立分校小学校1年 北村悠月
石川県健民運動推進本部 提供

心の教育推進協議会

11月1日は「いしかわ教育の日」

11月1日～7日は「いしかわ教育ウィーク」



いしかわ教育の日
シンボルマーク

「印刷用の紙にリサイクルできます」

平成25年度 親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」実施要項

1 趣旨

日頃、なかなか口にはできない親子のそれぞれの思いを「短い手紙」に表現して、互いの気持ちを理解することや、家族の話し合いを大切にする気運を高める。

2 主催

心の教育推進協議会

3 応募規定

- (1) 応募するもの 「親子の手紙」
- (2) 応募内容 家庭のあたたかさ、親子の会話の大切さ、心のかよう家庭づくりをイメージさせる内容の手紙
- (3) 応募資格 小・中学校の児童・生徒と親（祖父母などの家族を含む）
- (4) 募集期間 平成25年5月12日（日）～8月12日（月）必着
- (5) 応募・問い合わせ先

心の教育推進協議会事務局

（石川県教育委員会事務局生涯学習課内）

〒920-8575 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL (076)225-1839

(6) 応募上の注意事項

- ・応募作品は未発表のものに限る。
- ・親子の手紙は、それぞれ100字以内とし「、」「。」「」も1字として数える。
- ・応募用紙を使用する。（コピー可・ホームページからダウンロード可）

<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/syougai/kyogikai/oyakotegami/index.html>

4 審査・表彰

- (1) 審査 選考委員会による審査の上、入賞作品（優秀賞・入選）を選定する。
- (2) 表彰 入賞者には、表彰状を渡す。優秀賞については、後日表彰式を行う。
- (3) 副賞 優秀賞…「親子ふれあいの旅」ギフトカード

5 その他

- (1) 入賞作品の著作権は、心の教育推進協議会に帰属する。
- (2) 応募作品は、原則として返却しない。
- (3) 優秀賞・入選作品は、作品集等にまとめ、発表する。